



図書だより

No.7



上峰中学校 図書室 R5年11月発行

宝くじ

月名の由来

霜月 霜がおりるため、霜降り月(しもつき)と名付けられたのが変化しましたものとされます。

11月



立冬を過ぎると、こよみの上では冬の始まりです。朝晩の冷え込みもだんだん厳しくなってきましたね。日の短さを感じられるようになり、冷たい風も吹き始め、これから日一日と寒さがつのっていきます。風邪など引かないように注意しましょう！

11月20日(月)から図書室で「宝くじ」を開催します。1回借りごとに1枚宝くじ券を渡します。12月8日に抽選会をしますので、それまで大事に持っていて下さいね。何が当たるかはお楽しみ！

新春読書感想文コンクール課題図書



「ぼくたちはまだ
出会っていない」
八束 澄子||著
ポプラ社

イギリス人の父親と日本人の母親を持つ中3の陸は、バスケット部の豪大から何かと絡まれ、暴力を受けている。一方、母親の再婚を機に岡山から京都に引っ越してきた中2の美雨は、学校にも、家にも、居場所がなく、京都の町をさまよい歩いていた時、ショーウィンドウに飾られた器が月明りに一瞬きらめくのを見た美雨は、その美しさに心奪われる。そのときの胸の高鳴りが、美雨を思わぬところに誘っていく…。



「きみの鐘が鳴る」
尾崎 英子||著
ポプラ社

中学受験に挑む6年生たち。かけた時間や熱量は、必ずきみを強くする。チアダンス部の部活動に慣れて、青明女子中学校を目指しているつむぎ。同じ体操クラブに入っていて塾も同じのクラスメイトとうまいかなくなり、5年生の終わりに転塾することに。新しい塾「エイト学舎」には、いろいろなな子がいた。父親に厳しく管理指導される涼真。マイペースで得意不得意が凹凸している唯奈。受験に失敗した姉とずっと比べられている伽凜。受験をする事情や環境、性格、目指す学校もそれぞれ違う4人。迎えた2月、待ち受けているものは—？



「ばーちやる」
次良丸 忍||著
金の星社

近い将来、起こるかもしれない！？
3D映像を映し出す機械に、在りし日の祖母のデータを入力すると、リアルな姿が現れた。それはやがて心を持つようになり…。バーチャルな世界を見つめ、命の尊厳を問う物語。



「不思議屋『風待ち』」
西村 友里||著
文研出版

母とけんかをして、画廊「風待ち」に家出をしてきた美音は、ある特殊な能力を持っていました。それは、絵の中の世界に入り込むこと。個性豊かな絵に入り込むことで母の思いに気づいていく美音。その過程で

彼女の能力の秘密も明かされます。



「つらいときこそ笑顔で」
大野 益弘||著
あかね書房

緊急事態宣言下で開催された東京オリンピック・パラリンピック。開催の是非が問われ、他に例を見ないものとなった今大会は、あらゆる意味で特別な瞬間を重ねてきた。無観客の舞台に立ったアスリートたちの目線から、新しい時代を切り開くための物語を描く。スポーツの比類なきドラマは、どんな状況にあっても、輝かしい勇気と元気で、心をふるわせ励ます力を持っている。

その確かな記録—スポーツノンフィクション。